

世襲議員敗退の憂鬱は？
「日本の憂鬱」と嘆く



高木毅

「機会の平等」を取り戻すためには、 公立校の教育水準を向上させること

DATA

高木毅 たかぎ・つよし（2世） 自民党 衆院福井3区 当選3回
(父:高木孝一・敦賀市長) 1956年1月16日生まれ

父親は敦賀市長を務め建築資材加工会社を経営する実業家。息子の毅は青学大法学部卒後、家業の会社に勤める。父の後援会と地元建設業者からの勧めで出馬。2度目の挑戦で2000年初当選。地方政治家である父の後援会と地元業界に推されて国会議員になった典型的のひとつ。小泉内閣で防衛政務官。

公式サイトで「日本の憂鬱」と題し、日本の現状を嘆く。「我国固有の伝統文化や慣習、教育の崩壊、過度の“個の主張”」のせいで「独自の長い歴史や文化を持つ日本国家の品格が失われ」たと主張。これも自民党世襲特権議員の特徴。同じ世襲議員でも北川知克（大阪12区）とはずいぶん違う。ちなみに、天照大神の時代から現在までの間、日本で個の主張や個の確立がなされた時代はあったのだろうか。

さらに教育に関して「機会の平等」を取り戻すためには、「公立校の教育水準を向上させること」が重要だと指摘。確かに公立校の改革は大切だが、自民党世襲議員が「機会の平等」と言う様に笑ってしまった。しかし、主張は正しい。

【連絡先】 〒914-0805 福井県敦賀市錦町4-8 森口ビル2F
Tel 0770-21-2244 Fax 0770-21-2243
第一議員会館（直） Tel 03-3508-7296 Fax 03-3508-3506

竹下登元総理の弟



DAIGOのトークショーに飛び入り参加。“竹下フ

DATA

竹下亘 たけした・わたる（3世）
(祖父:竹下勇造・県会議長／兄)

祖父・竹下勇造は島根県会議長。竹下登は妻同士が姉妹の関係。なんといっても自民党最大派閥だった経世会を創設した実弟の竹下亘は慶大経済学部卒業後NHKで、1980年、兄・竹下登の秘書になる。の実弟だけに有利に働き、しかも選挙戦で環境大臣政務官、福田改造内閣で小泉内閣で環境大臣政務官、福田改造内閣で環境大臣政務官、小泉内閣で環境大臣政務官、竹下が代表を務める自民党島根県第2名停止処分を受けた建設業者から20万円の書から判明したと朝日新聞他で報道され中との認識はなかった。早急に返還する2008年にブレイクしたミュージシャーに飛び入り参加。自分の政策

【連絡先】 〒693-0068 島根県出雲市姫原2-8-12
Tel 0853-23-8118 Fax 0853-23-8228
第二議員会館（直） Tel 03-3508-7619 Fax 03-